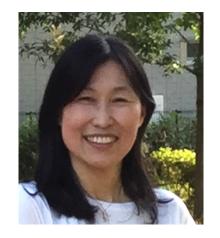
## Development of Participatory Community Building Model by Using Local Goals and Website Visualizing Them





Masako Hasegawa

Masako Hasegawa, CSO Network Japan, Noriaki Koshiba , Social Welfare Council of Kurobe City



Noriaki koshiba

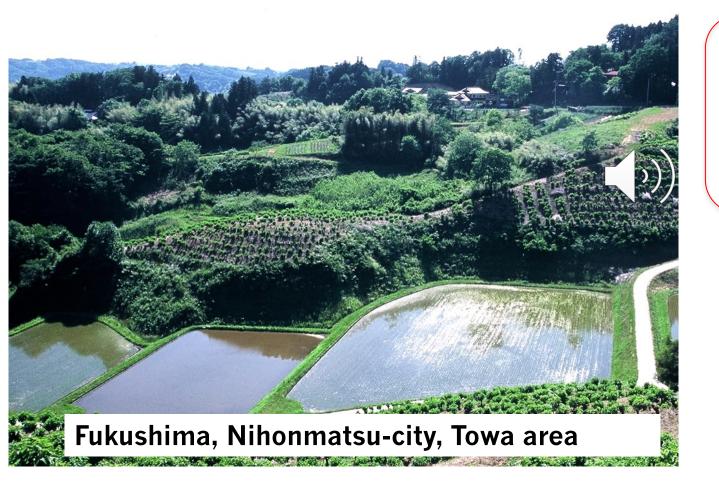
## **Mutual Help in Japanese Community**



Fukushima, Kitakata-city, Yamato area



## **Aging and Depopulation in Rural Japan**



## **Increase of Needs**







Decrease of Local Supporters

## **Workshop: Recent Standard of Community Building**



## **Community Development Model for Participation**

- Goals: Sharing the common direction
- Index: Motivating leader and supporters
- Visualizing: Enabling to be interested in communities
- Participating in Web: Prevailing beyond small workshop



# GAH

Gross Arakawa Happiness 荒川区民総幸福度

幸せのまちみんなでつく





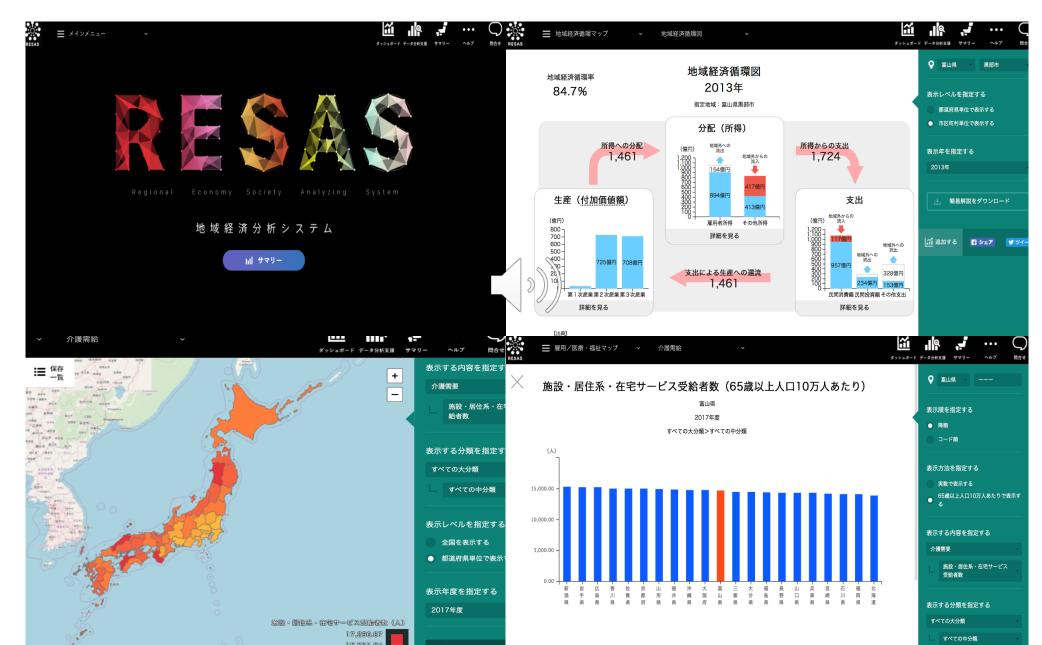


## **Gross Arakawa Happiness (GAH)**



Source: Kaeru-caravan web site

## Regional Economy Society Analyzing System



## Development a Model in Kurobe with Goals and Visualizing









2. Start from Communication



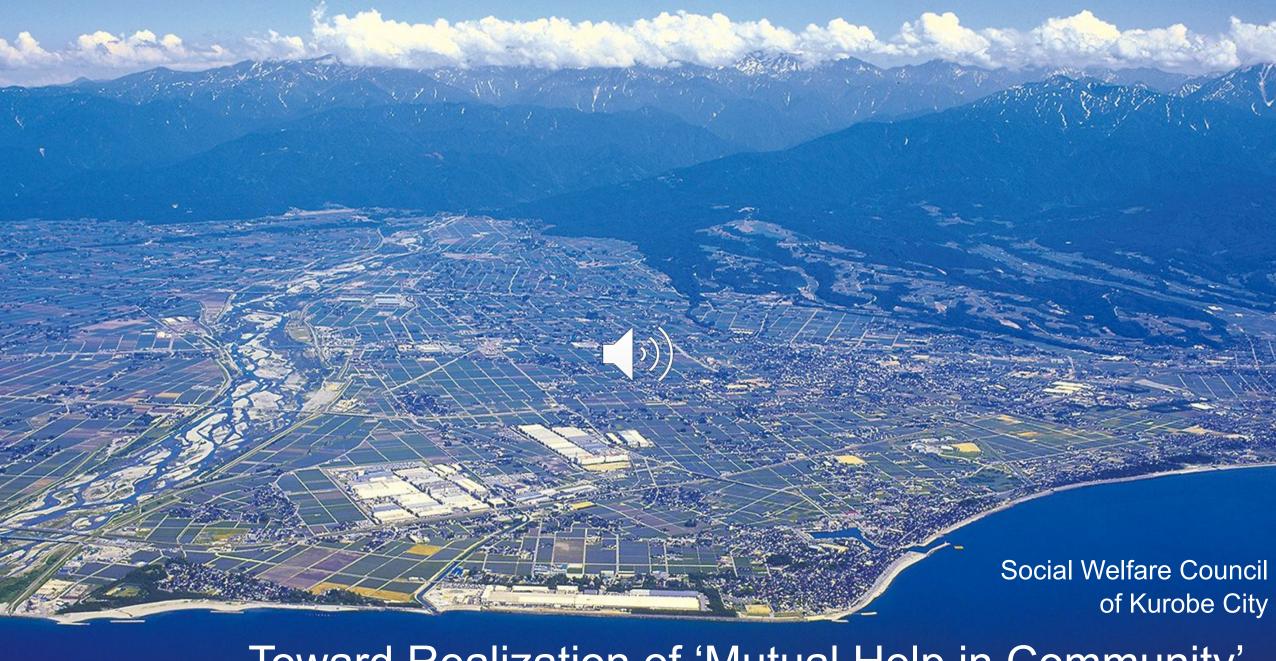
3. Social Welfare Outreach



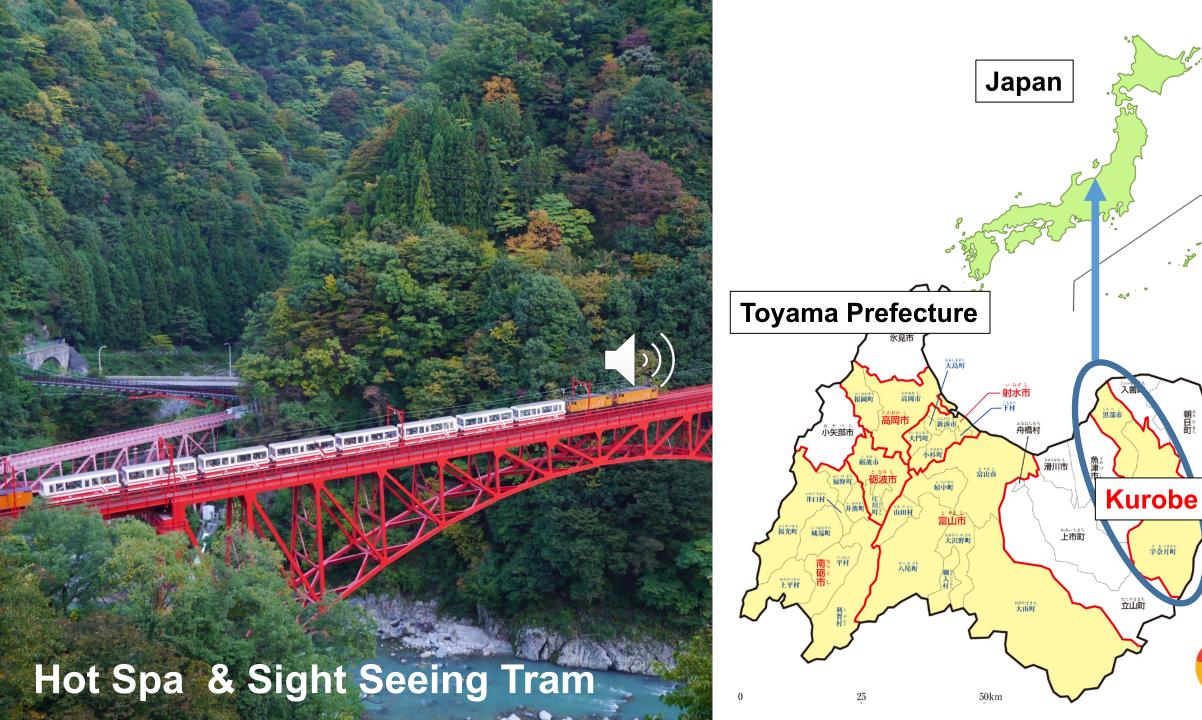
4. Leverage the Strength of U40



5. Promote with Partnership



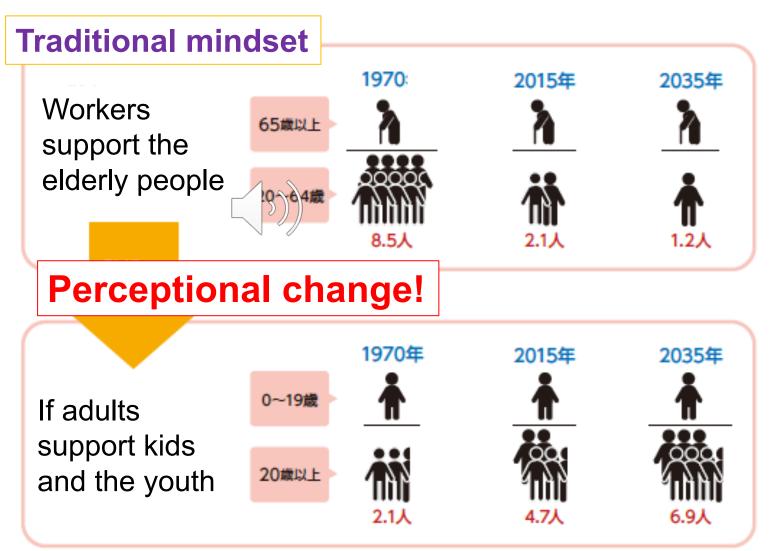
Toward Realization of 'Mutual Help in Community'



**5** GOALS for黒部

# From Supporting the elderly to Supporting children

Baby Bust
Aging
Depopulation
In Kurobe





## Direction of Building Community in Kurobe

Doing by Ourselves on Our Resources in Community

Raising Supporters and Leaders

Collaborating with Multi-stakeholders

Encouraging Participation



➤ Community Vision of Social Welfare Council in Kurobe

Building inclusive community everyone can live with security

Management Strategy
Looking ahead ten stops and Thinking deeply

➤ Five Key Concepts for Strategy
People, Goods, Capital, Information and Time





### **Most Plan Documents are too Voluminous**



Comprehensive Plan of Toyama 577 pages



Development Plan of Kurobe

197 pages



The Second Kurobe Social Welfare Action Plan **54 Pages** 





**Meeting for Authorization** 

Meeting for
Learning,
Communicating
and
Building Community



## **Community Building with Goals and Visualizing**







## **Based on Voices of Community**

#### **Complexity of problems**

- Needs for professional nursing care
- Complexity and Digitalization of work

## **Difficulty of collaboration**

- Lack of collaboration with public sectors
- Lack of platform and opportunity

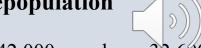
#### Lack of actors

- Lack of leaders
- Lack of actors-bearer

#### **Progress of isolated in community**

- Reduction of mutual help
- Elderly care by the elderly

#### **Depopulation**



- 42,000 people  $\rightarrow$  32,600 in 2045
- Baby bust Number of birth: 283 in 2017

( $\triangle 3.1\%$  third consecutive decrease)

 Aging Aging rate 30.5% in 2015  $\rightarrow$  38.8% in 2045

#### **Virtue of Community Activities**

- Communication with various generation
- Expanding network
- Learning each other
- Finding a new sense of purpose in life



## Simple and Colorful PR



#### 黒部の福祉を良くする活動計画

**Kurobe Social Welfare Action Plan** 

2019年度 — 2023年度













この活動計画は、「お互いさまの社会の実現」を目指し民間の福祉活動団体や活動者が、ここから5年間、何を目標(ゴール)にどんなこと(ターゲット)に力を入れて取り組んでいくのかを示すものです。なお、本計画は「第3次黒部市地域福祉活動計画」をわかりやすくまとめたものです。

作成:第3次黑部市地域福祉活動計画策定委員会 事務局:社会福祉法人 黑部市社会福祉協議会

#### お互いさまの社会の実現に向けて

ission

誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくりの推進



黒部市人口ビジョン(2015年策定)では、今後の人は減少し、一方で高が見込まれます。 かい

は、維持していくためには、一人ひとりが2役、 3役と様々な「出番と役割」を持つ必要があり ます。地域活動に参加する機会を増やし、人 口滅に反比例するように活動人口(地域活動 に参加する人)を増加させていくことを目指し ます。

#### 地域で活動する人を増やし 地域の担い手を育てる

- 1 小さな地域で出番を増やす
- 2 住民主体の意識を育てる
- 3 世代間交流事業に取り組む

人と人とのつながり、信頼関係を構築するためには、知る場、学ぶ場、話し合う場、そして当事者同士が支え合う場づくりが必要です。話し合

い、相互理解、情報を共有することから、新たな手立てが導き出され、それが行動促進へつながります。地域のこれからを自分たちで考える対話の場づくりを増やし、住民主体のまちづくりを目指します。

|CT(インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー)・・・・・ 情報通信技術の略。パソコンやスマートフォン、スマートスピーカーなど、さまざまな形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称。

#### 話し合う場、学び合う場、 支え合う場をつくる

- 1 市内で学び合う場をつくる
- 2 新しい話し合いの場をつくる
- 3 ICTを活用した 「知る・学ぶ・つながる」場をつくる

3 000 すべての 人々に福祉を

誰もが安心して地域で生活 していくことができる地域共 生社会を実現するためには、 「お互いさまの助け合い」の 心を育てていく必要がありま

す。また、声なき声を拾い、時代の変化と共に 生まれ続けるマイノリティーな立場にある人々 を「誰ひとり取り残さない」の精神のもと支え ていく社会の実現を目指します。

マイノリティー …… 社会的少数者または社会的少数集団。社会的少数派とは、その社会の権力関係において、その属性が少数派に位置する者の立場やその集団を指す。

#### 誰もが安心して暮らせる 社会的孤立の無い 地域をつくる

- 1 「お互いさまの支え合い」を実現する
- 2 「声が届く地域、声を見つける地域」を目指す
- 3 小地域単位での地域課題解決力を高める

<u>4</u> ⅓

U-40代の 力を活かそう 地域を支える支援者の高齢 化が深刻な課題として挙げられている中、次世代に引き 継ぐしくみとして、地域での 話し合いの場面において若

者の声を意識して入れていく必要があります。 人生100年時代を見据えて、40代以下が地域 づくりに関心を持つ機会をつくり出し、参加す る場を提供することで次世代の社会参加を 促すことを目指します。

U-40代(アンダー40代) ……「U(ユー)」はアンダー(under)の頭文字で、「下の」、「下に」を意味する。この場合は49歳以下を指す。

U-40代に 地域福祉への関わりや 参加の機会を増やす

- 1 小中高生の福祉に触れ合う機会を増やす
- 2 10代、20代、30代、40代の声を入れる
- 3 全世代で福祉体験教育に取り組む

5 パートナー シップで目標を 達成しよう

複雑多様化する地域課題を 解決していくためには、それ ぞれの強みや利害を明確に 連携協働していくことが必要 不可欠です。異業種や異分野

でつながる多職種の場づくりや市内16地区間での連携体制の強化を目指します。

パートナーシップ …… 協力関係。共同。提携。 プラットホーム …… 動かすために必要な、土台となる環境、土台となっ ているもの。 コラボレーション …… 共に働く、協力するという意味で、共演、合作、共 様々な連携・共同で 地域課題を 解決していく力をつける

- 1 つなぐプラットホームを整備する
- 2 異業種/異分野が コラボレーションする場づくり
- 3 地区同士の助け合い、連携を強化する



の

目

ع 15

0







Visualizing Social Action in Community

Visualizing Social Action in Person

Motivating Social Participation
Residents-Centered Community Building

## Looking forward to seeing you in January!



